地域密着型サービス運営推進会議 議事録

デイサービスせぴあ

開催日時：2026 年 1 月 29 日（木）15：30～16：00
参加者：
園田南地域包括支援センター　O 様
利用者　S 様
デイサービスせぴあ　堤

【議題】
0.　前回の課題
1.　利用者状況報告
2.　活動報告
3.　ヒヤリハット・事故報告
4.　今後の予定：くらしいきいき巡回講座
5.　報告に対する意見及び要望・質問
6.　評価・振り返り

０．前回の課題

- 特色がわかる広報
- 男性の居場所づくりが地域の課題
    - 行ってみたら楽しいのに、行かない
- 要支援　短時間利用に需要
- 利用者・家族・その他地域の方も参加
    - アンケートなども活用するとよい

１．利用者状況

定員 15 名
利用者数 27 名（男性 7 名 女性 20 名）うち休止中 1 名

※令和 8 年 1 月 29 日現在

<介護度別>

要介護 5	1 名
要介護 4	2 名
要介護 3	5 名
要介護 2	6 名
要介護 1	9 名
要支援 2	2 名
要支援 1	1 名

<曜日別>

月	10 名
火	11 名
水	10 名
木	10 名
金	8 名
土	10 名

平均利用回数　約 2.3 回/週
★年末年始～体験 7 名→本利用 3 名・検討中 3 名と、今後少し増加する見通しです。

２．活動報告

・秋の運動会

紅組と青組の２組に分かれ、応援合戦、玉入れ、タオル引き、ボールリレーを行いました。チームの仲間と一体となって頑張ったり、喜び合ったりと、楽しく心と体を動かすことが出来ました。

・クリスマス会

①合奏について

今までのクリスマス会は職員が出し物、利用者様は観客のスタイルでした。

地域のコミュニティに参加した際、利用者様の役割や目標を掲げ、達成感や成功体験、他者のために頑張ろうという意欲を引き出すことが大事ではないかと学びました。そのことから、本年度のクリスマス会は利用者様も出し物をするスタイルに変更しました。

クリスマス会の１ヶ月前から、手につけるカスタネットの作成をし、毎日、音楽に合わせ音を鳴らし練習しました。出来具合を見ながら振り付けを追加し、今の利用者様に合った合奏を皆で作り上げることができました。

会当日も無事に演奏でき、家族様も喜んでくださいました。

練習・本番通して、参加拒否された方はいらっしゃらず、中には熱心に自主練をしてくれた方もいらっしゃいました。「次はダンスがええなぁ」とのお声もいただきました。

②チラシについて

弊所の活動を知ってもらえるように、チラシを居宅支援事務所・家族向けに配布しました。当日はケアマネージャー様２名、家族様１名がご参加くださいました。また、別のケアマネージャー様がこのチラシをフックに施設紹介をしてくださり、新規利用に繋がりました。

３．ヒヤリハット・事故報告

3 件　いずれも持ち物の取り違い

いずれも直後に発見し対応したが、同じようなヒヤリハットが続いているため、

鞄や連絡袋など、入れ物の名前を再確認する、お送り前に持ち物を再確認するなど、確認を強化し対策していきます。

４．今後の予定：くらしいきいき巡回講座

3 月 19 日（木）13：00～14：30

尼崎消費者生活センター様に講師をお願いし、「くらしいきいき巡回講座」として、消費生活における身近なトラブル（詐欺、悪徳商法など）の防止について学ぶ会を行います。

利用者様が知らない番号からの電話に応対されているのを目にすることがあるため、対策

が必要と考え、講演をお願いしました。せっかくの機会なので、この時間は施設を開放し、どなたでも来ていただけるようにします。町内会等にもお知らせする予定です。

5. 意見及び要望・質問

※事前アンケート結果　家族様より

・いつもお世話になっております。これ以上の要望はありません。感謝しております。

・優しい人ばかりでとても幸せです。

・入院中もせぴあに行きたいと伝えようとしていました。楽しみにしている様子を見るだけで家族も嬉しく思っています。ありがとうございます。

利用者　S 様より

お風呂のために、と思って利用し始めたが、色んな人がいて、色んな友達ができて、話ができる。大好きな花札も出来る。他の利用者も好きなことをしている。楽しいところだと思って利用を続けている。苦情は特に無い。

園田南地域包括支援センター　O 様より

・転倒事故が起こっていないのは良い。

・せっかくいい取り組みをしているので、このような場（運営推進会議）にも民生委員や町会長などに来てもらえるよう声掛けをして、どのような施設なのかや、喜んでいただけていることなどをアピールするほうが良いと思う。

→今度のイベントを一つの機会として、地域交流を始めていこうと思っているので、次回はお声がけをしたい。

6. 評価・振り返り

前回の課題を踏まえて企画したレクリエーション・イベントを実施することができた。また、対面およびアンケートにて、利用者様、家族様、地域包括より評価コメントを頂くことができた。

次回以降に向けて、地域の方々にもせぴあのことを知っていただけるよう、声掛けができるつながり作りをしていきたい。